

【1から5までの数唱】

(ねらい)

○1から5までの数を数唱することができる。

(教材・教具について)

- ・興味のあるイラストを用いて、イラストと一対一対応でコインを置きながら、数唱しました。
- ・児童が好きな買い物ごっこの場面を設定し、イラストに対応させたコインを教師に渡す場面を設けました。教師がコインを受け取る際に、「1、2、3、4、5」と数えながら受け取り、数を意識できるようにしました。



【ひらがなの弁別】

(ねらい)

- 見本と同じ文字のスタンプを選び、印字することができる。
- 印字した単語（動物や果物の名前）を、読むことができる。

(教材・教具について)

- ・なぞりの難しい児童が「自分でできた」と実感できるようにスタンプを活用しました。
- ・スタンプは児童の手の大きさに合うように配慮しています。
- ・スタンプは五十音順に並べて、提示しています。同じ場所に同じスタンプがあることで、短い時間で選ぶことができるようになりました。
- ・一マスに一文字ずつ印字することで、自然に一文字一音節を意識できるようにしています。
- ・スタンプを選ぶことを通して、ひらがなの学習に自信がつき、スタンプで印字した文字を見ながら、書字にも取り組むことができました。



国語・算数・自立活動の教材・教具について

【漢字の読み書き①】

(ねらい)

○漢字の読み方を覚え、読むことができる。

(教材・教具について)

- ・ マッチングが得意なことを生かし、読み仮名と漢字カードを合わせるという意識付けをしました。
- ・ 塗り絵が好きなので、書体をゴシック体にし、ペンで塗り込む感覚が生じるようにしています。
- ・ 読み仮名一文字には赤点一つ、漢字にはその音節数分の赤点を付けておくことで、漢字に対応する読み仮名が視覚的に分かるように配慮しています。



【漢字の読み書き②】

(ねらい)

- 漢字の読み方を覚え、読むことができる。
- 漢字の書き方を覚え、書くことができる。

(教材・教具について)

- ・日常生活で見聞きする身近な漢字を取り上げました。
- ・読み方では、漢字と読み仮名に●○×などの印を付け（写真1）、視覚的に漢字と読み仮名の対応が分かりやすいようにしました。
- ・書き方では、なぞり書きから始めました。なぞり書きでは、筆順を意識できるように、筆順に合わせて色分けをして文字を示しました。慣れてきたら、数画ごとのまとまりで色分けをし、取り組みました（写真2）。
- ・徐々に文字の一部や読み仮名の一部を消し（写真3-1、3-2）、一人で取り組む部分を増やしました。

(写真1)

米	内	沢	よ	な	い	ざ	わ
森	吉	も	り	よ	し		
比	内	ひ	な	い			
学	校	が	っ	こ	う		
分	校	ぶ	ん	こ	う		
吉	野	よ	し	の			

(写真2)

米	内	沢	よ	な	い	ざ	わ
森	吉	も	り	よ	し		
比	内	ひ	な	い			
学	校	が	っ	こ	う		
分	校	ぶ	ん	こ	う		
吉	野	よ	し	の			

(写真3-1)

米	内	沢	な	い	ざ		
森	吉	も	り				
比	内		な	い			
学	校			こ	う		
分	校	ぶ	ん				
吉	野			の			

(写真3-2)

米	内	沢	よ	な	ざ		
森	吉			よ	し		
比	内			な	い		
学	校	が	こ				
分	校	ぶ	こ				
吉	野			の			

米	内	沢	よ	な	い	ざ	わ
森	吉	も	り	よ	し		
比	内	ひ	な	い			
学	校	が	っ	こ	う		
分	校	ぶ	ん	こ	う		
吉	野	よ	し	の			

実際に児童が取り組んだ後の
プリントです。

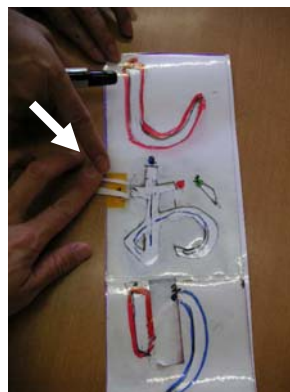
【筆順を意識したひらがなのなぞり】

(ねらい)

- 始点につけた印を意識して、一画目をなぞることができる。
- 二画目を（一画目に惑わされず）なぞることができる。

(教材・教具について)

- ・一画目は赤、二画目は青、三画目は緑と色分けをして、ひらがなを提示しました。
- ・字体の形にくりぬいたプラ板を乗せることで、字体が立体的に見えるようにしています。
- ・色分けをしても、「お」は二画目から書き出すことが多かったため、一画目と二画目を区別しやすいように、一画目にプラ版で作ったガイドを付けました。
- ・さらに、一画目の始点が分かりやすいように、印を付けました。



一画目を書いた後、ガイドを外します。

【目と手の協応】

(ねらい)

- 好きなマグネットを選び、見ながら手に取ることができる。
- 箱の穴を見て、マグネットを入れることができる。

(教材・教具について)

- ・ マグネットが分かりやすいように、白色ボードの上に色の付いたマグネットを準備しました。
- ・ はがす、はずす活動が好きなことを生かし、ボードからマグネットをはがす感覚を楽しみながら活動できるようにしました。
- ・ 意識して箱穴を見ることができるよう、箱の位置を変えて提示しています。
- ・ 次の段階として、丸いマグネットから棒状のマグネットやペン、鉛筆等に替え、「向きを意識して入れる」活動に取り組んでいます。今後はマグネットからタオルなど形が崩れやすいものにし、「筒状に丸めたタオルの形を維持して入れる」活動を考えています。

